



^真鶴町俳句協会▼

朝冷えの港にひびく競りの声
一つだけ残りし柿のうまさかな
秋夕焼眺めてこころ丸くなり
秋時雨そろりと渡る太鼓橋
塩壺にぱとりと落ちし秋刀魚のく
好物の林檎食む母白寿なり

英一 比左子 千恵子 作 絵 珠 せつ子

老犬の背弓形や秋の星
しつけ糸抜き十月がやつてくる
天高し駅にふんばる丸ボスト

桂園直
子子美

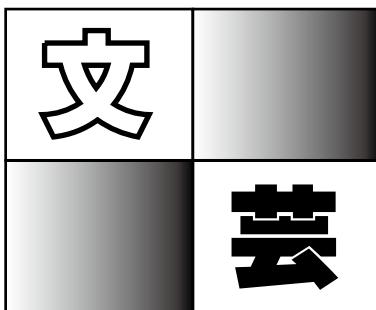
五年
艶や

ぶり運

動会は笑楽会
はぜるや椿の実
る秋の日本海

文翠保
子明夫

奥おく 括きつ 谷たに



〈真鶴短歌会〉

ラグビーのルールは知らねいつしかをテレビに
釣付けわれを熱くす 河村温恵

眠れたか仕度はできたか ホスピスへ入りゆく
義姉のこゑのひそけ 田所仙子

ホスピスに棲む」と言葉が浮かびたり有りや
無しやか潜みしころ 神田眞三

紅の風にゆらるる彼岸花ありし人想ふ老いて
もわれは

鱗雲・鰯雲はたひつじ雲秋の空葉し雲の展覧会 青木智子

彩のなき桜落葉の舞ふ日暮れ駐車場が夏を曳
ききする 新田禎子

腰痛のわが身を氣遣ひくれにけむエレベーター
のボタン押す人 湯川律子

待ちゐたる茗荷の花の咲き出でて思はず「あら」
とわれは声あぐ 竹林初江

竹やぶになりし山裾手入れなくみかんを覆ふ
葛は妖怪 中村みほ子

荒れ畑に絶え絶えとせる白き花芙蓉がけふの二
輪となる 川崎善子

真夜中の合間を谷地に響くのは線路の軋み警
笛の音 温井松代 加藤龍

謂うなれば詠むはひとつ行為にてこころを起
こすまでの懊惱

みやこ

※10月1日～10月31日受付分の掲載了承者のみ掲載しています。（敬称略）

- 『一般書』
 - 天気も宇宙も！　まるわかり空の図鑑
武田 康男/著、かわねん/イラスト
 - コーヒー1杯分の時間で読む「教養」日本史
佐藤 四郎/監修
 - コーヒー1杯分の時間で読む「教養」世界史
市川 賢司/監修
 - 中世ヨーロッパ「勇者」の日常生活
ケイト・スティーヴンソン/著、大槻 敦子/訳
 - がんばらなかつた逆偉人伝　日本史編
加来 翁三/監修、ミューズワーク(ねこまき) イラスト
 - 天文現象のきほん
塙田 健/著
 - 西洋音楽の教科書

《兒童書》

- チーム紫式部！ 楠木 誠一郎作、酒井 以/絵
■博物館の少女1,2 富安 陽子/著
■おしまい図鑑 真山 知幸/著
■ぬまの100かいでてのいえ いわい としお/著
■チン！するレンジはレストラン？
　うえだ しげこ/作・絵
■あたまにかきのき いもと ようこ/文・絵
■あける はらべこめがね/著
■もりのかくれんぼ
　フィリップ・ジャルベール/作、ふしみ みさを/訳
■PIHOTEK ピヒュッティ 北極を風と歩く
　荻田 泰永/文、井上 奈奈/絵
■かがくのふしぎ 川村 康文/著、小林 尚美/著
■ゆきのけっしょう
　武田 康男/監修・写真、小杉 みのり/構成・文
■ウォーリーをさがせ！ア・メイズ・イング
　めいいろのたび
　マーティン・ハンドフォード/作・絵、増田 沙奈/訳

※11月から、随時入っています。
便利なインターネット予約をご利用ください。

今月のおすすめ

チーム紫式部！

池のほとりでイケメンにひとめぼれした香子。その後親のきめた相手と結婚し、やがて末亡人となった香子は初恋の人が主人公の物語を書き始め…。世界最古の恋愛物語誕生(?)のいきさつを描く。「源氏物語」のあらすじも紹介。

公共施設12月の休館

まなづる図書館

☎ 68-6326

4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)
28(木)～31日(日)

町民センター ☎内線440
4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)
27(水)~31日(日)